

労働・人権	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●	・グループ内に研修所があり、必要な資格を取得することが出来る。 ・必須資格については、入社より段階的な計画表が作成してあり、従業員への啓発をしている。また、必要経費の全額支給や、高い能力の資格については報奨金制度も設けている。 ・良好な職場環境の醸成や部下の能力開発など、適切なマネジメントを実施出来る管理職を育成するための『基幹職研修』を行っている。 ・全社員のeco検定取得を環境目標(EMP)に挙げ、取得推進に取り組んでいる。			4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●	・年に2回の健康診断、及び、インフルエンザ予防接種の経費は会社が全額負担している。 ・毎朝、出社時の体温測定を実施、朝礼時にラジオ体操を実施している。 ・コロナワクチン接種に対し、休暇の取得が出来る様な体制を取っている。			3				8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●	・全社員27名中、女性7名、再雇用社員2名が十分に活躍できる環境が整っている。差別的待遇は無い。			4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議を導入している。	●	・全社員にモバイルパソコン・携帯電話を支給し、在宅勤務、直行直帰、時差出勤を導入し、新しい働き方に対する労務管理体制も整備している。 ・web会議、会議室の窓開け換気、空気清浄機、全熱交換器の設置など徹底している。			3				8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●	・全社員にモバイルパソコン・携帯電話を支給するなど、IT投資によりテレワークを推進している。 ・勤務管理、手続き関係、カタログなど全て電子化している。 ・ドキュワークスを導入し、パソコンでのFAX管理や相互間の伝達や共有ホルダー管理を実施している。社員同士の対話についてもteamsやチャットを活用している。							8	9.1		11	12						
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●				3	4			8	9			12						

環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●	・ISO14001を取得している。 ・廃棄物や有害化学物質を把握し、適切な管理及び処理に取り組んでいる。	3.9								11.6	12.4		14.1	15.1							
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●	・社内を全てLED照明に交換している。 ・社有車をエコカーに転換している。 ・次世代テレマティクスサービス「SMAS-Smart Connect」を導入し、ドライブレコーダーと運転管理ソフトを利用した上でガソリン削減に取り組んでいる。 ・毎月の電気使用量・ガソリン使用量を算出し、EMP(環境取組)の監視目標として削減に努めている。											13									
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●	・ダイキンは環境ビジョン2050を策定し、2050年に温室効果ガスの排出実質ゼロに向けて、2030年目標を設定し、戦略経営計画に織り込んで推進している。 ・自社の工事で発生するフロンガスの回収・管理の徹底、また、全数再生への取組により、現在の破壊処理より1/20のCO ₂ 排出量となる取組を実施している。	2.4										12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●	・敷地内に緑地を設け整備し、生物の生育地の創出に取り組んでいる。 ・事業及び従業員の活動において、廃プラやレジ袋などの使用削減に努めている。 ・環境に配慮した製品の販売を通じて、生物多様性の保全に努めている。													14	15						
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●	・ドキュワークス利用を促進しペーパーレス化に努めている。 ・裏紙利用を徹底している。 ・ゴミの分別を徹底し、リサイクルに努めている。						9.4					12.2 12.4 12.5		14.1	15						
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●	・節水の啓発プレートを掲示するなど、節水に取り組んでいる。	2.4									11.5			14.1 14.2 14.3	15		17				
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●	・事業内容である家庭用エアコンの排出は、100%家電リサイクルとしている。 ・本来業務では、グリーン購入法調達基準適合商品の販売に努めている。						9.4					12.4 12.5	13	14	15						
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		1	2												12.3	14	15	17			
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●	・毎週月曜日朝、事業場周辺道路の緑化・清掃活動をしている。 ・夏場は事務所ガラス面にグリーンカーテンを植栽している。										11.6 11.7			13.1 13.3	15		17				
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●	・事務所棟屋上全面に太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーを創出している。												9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●												6	9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13	15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●												6.1 6.3 6.6			11.3 11.4 11.5	12.2	13	15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●													9.4		11.2		13.1 13.3				
36	【2050年CO ₂ 排出実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO ₂ 排出実質ゼロを目指し、計画的にCO ₂ 削減に取り組んでいる。	●	・2050年カーボンニュートラルの実現を目指す『環境ビジョン2050』を策定し、2050年に温室効果ガスの排出実質ゼロに向けた計画を立てている。(グループ本部分針) ・中長期計画を立て、2025年に30%以上、2030年には50%以上の削減目標を設定し、戦略経営計画に織り込んで推進している。 ・自社の工事で発生するフロンガスは全数再生の取組を実施し、CO ₂ 削減に向けた取組強化を実施している。 ・年に一度、グループ全社のサステナビリティレポートを発行、また、環境レポートを毎月発行し全従業員へ周知徹底を継続している。															7.1 7.2 7.3 7.a	9.4	11.6 11.a	12.8	13		17.17

